

令和2年度 一般会計補正予算(第9号)

全員賛成で可決

みんなにやさしい学校体育館

小学校施設管理事業補正額 22億8729万6千円
中学校施設管理事業補正額 13億1017万5千円

体育館改修工事について、第2回定例会で審議された設計業務に続き、工事費用等に関する補正予算が今定例会に提出されました。市内の小学校13校及び中学校6校の全19校が対象で、工事は令和3年度に行われる予定です。

校体育館においても対策が必要となっている。

また、災害発生時には市民の避難所としての役割を担うことから、空調施設の整備と経年劣化した施設の改善を行う。

学校体育館のバリアフリー化

改修工事の概要は。

設備として空調機を新設する。また、避難所として利用することを考慮し、照明及びコンセントに使用できる非常用発電設備を設置し、調光式のLED照明へ更新する。

また、トイレは和式便器の洋式化と床のドライ化を行うとともに、オストメイト対応の多目的トイレを新設する。

さらに、バリアフリー化として、スロープ及び手すりを設置する。内装及び外装の経年劣化の改修も併せて行う。

令和3年度中に工事完了見込み

今後のスケジュールは。

令和3年2月末に設計が完了した後に入札を行い、令和3年第2回定例会に工事請負契約議案を提出する予定である。

災害発生時に学校体育館が利用できること、そして卒業式を新しい体育館で実施できることを考慮して工事期間を設定する。

具体的には全19校のうち8校は令和3年7月以降に着工し、同年11月中旬までに完成、残り11校は同年11月以降に着工し、令和4年2月中に完成する予定としている。

どのような方式の空調設備を導入するのか。

電気対流式を4校、ハイブリット式を11校、都市ガス対流式を4校と

し、リスクの分散化を図る。

※1…室内の空気を直接温めたり冷やしたりするために、強制的に空気の流れ(対流)を発生させて冷暖房を行う方式。駆動方式により電気式とガス式がある。

※2…輻射パネルとエアコンの配管を直接接続して、パネル内に冷媒ガスを通して冷暖房を行う方式。



教育環境のさらなる充実

体育館工事の目的は。

近年では温暖化等により各地で熱中症が多発していて、学

